

2020.10.21 <計1枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位
草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

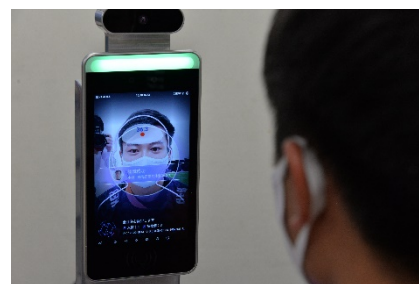
課外活動における選手・スタッフの安心・安全を考慮した環境整備にむけて
ミツフジ（株）・ハモンスポーツマーケティング（株）が共同開発した
「競技用高機能マスク」を寄贈いただきました

立命館大学体育会ラグビー部（以下、ラグビー部）は、本学研究機構が包括協定を結ぶウェアラブル IoT 企業のミツフジ株式会社（本社・京都府）と同社のスポーツマーケティングを担うハモンスポーツマーケティング株式会社（本社・東京都）が共同で開発した「競技用高機能オリジナルマスク※」の寄贈を受け、競技シーズンにおける感染症予防対策の一環として着用することになりました。西陣で培った繊維加工技術を活かし、目の大きさの異なるメッシュ素材を裏と表で使い分け、フィルター効果と呼吸のしやすさを両立したマスクです。

ラグビー部は、競技ガイドラインに沿った感染症防止対策を講じた中で活動を進めてきましたが、マスクは試合間の移動時や試合中の控え選手およびチームスタッフに着用が義務付けられるなど、部の活動に欠かせないものとなります。

また、感染症防止対策の一環として、10月16日にはアメリカンフットボール部とラグビー部が利用するクラブハウス入口に顔認識カメラ付き検温器を導入。選手・スタッフは入場時に同機器のモニターを覗き込むことで温度を測定し、一定以上（37.5℃）が検知された場合にアラートが表示されます。

感染症予防対策と競技活動を両立するために、学生自身が意識ある行動を徹底するとともに、企業との連携の中でより活動の幅を広げていくことで、コロナ禍においても高いレベルで活動し結果を残すことを目指します。



※寄贈いただいたマスクについて

比叡山を象ったラグビー部ロゴ入りオリジナルマスク 170 枚。究極の通気性を追求したメッシュ素材のマスクは、ウエイトトレーニング等の激しい運動時でも快適に活用できることが特長。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:立岩 TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeai.ac.jp/>